

令和4年度 環境基本計画総括表

1 低炭素モデル都市を形成して気候変動に対処する

◎全体の総括

基本目標1の進捗状況は「目標を大幅に超えて達成」と「目標どおり達成」が半数となりました。特に、再エネ機器等や低炭素自動車への乗換えに対する補助事業は目標を大幅に超える結果となりました。一方、「一部未達」や「未達」の事業も半数見られました。特に、モニタリングデータの取得率は目標を達成できませんでした。なお、計画の評価指標である温室効果ガス排出量は2013年度（2,053千t-CO2）と比べて179千t-CO2減少し、低炭素住宅の新規入居数は2021年度と同件数となり、引き続き成果が出た結果となりました。

◎評価結果（全13取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	2
目標どおり達成	4	4
一部未達	3	4
未達	2	2
未実施	1	0
評価せず	-	1

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
温室効果ガス排出量	1,874千t-CO2 (2019年度)	1,519千t-CO2 (2013年度比26%減)
低炭素住宅の新規入居戸数※	372戸 (2018～2022年度)	605戸 (累計)

※つくば市低炭素（建物・街区）ガイドラインで認定する戸建住宅でエネルギー消費量や断熱性能に優れた住宅

1-1 低炭素社会の実現に向けた様々な主体の取組の促進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
2	家庭や事業所のエネルギー使用実態をモニタリングして得られた省エネ効果等の情報の被験者へのフィードバック・活用。	モニタリングデータ取得率	43% (90%)	2
3 (1)	【重点施策】市域の地球温暖化対策を誘導するための組織を越えた関係者による事業の検討。	Jクレジットの活用を検証した資料作成	プロジェクトを実施する場合のプロセスを整理した、資料完成。（資料の完成）	3
		宅配ボックス設置事業補助金件数、カーシェアの利用者分析資料の作成	14件、次年度の検討材料となる資料完成 (50件、資料の完成)	

1-2 まち・建物の低炭素化

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
4	再エネ機器・低炭素住宅に対する費用補助。	燃料電池及び蓄電池の補助件数	198件/年 (150件/年)	5
		補助を行った燃料電池のCO ₂ 削減量	▲140t-CO ₂ (▲89t-CO ₂)	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
5	「つくば市低炭素（建物・街区）ガイドライン」の効果的な見直し、運用及び基準を満たす低炭素住宅（戸建、集合住宅、非住宅）の認定。	低炭素建物の認定戸数	戸建 111 戸/年（55 戸/年） 集合住宅 0 戸/年（1 戸/年） 非住宅 0 戸/年（1 戸/年）	3
6	コンパクトなまちづくりを推進するため「立地適正化計画」に基づく市の取組や施策を情報提供し、届出制度により住宅開発等の動向を把握。	-	立地適正化計画に係る市の取組や施策を情報提供、住宅開発等の届出を 35 件受付し、立地動向を事前に把握（-）	-
7	公共施設におけるエネルギーの有効利用、設備の省エネ化及び低炭素な電力契約の導入。	つくば市役所における CO2 削減量	58, 251t-CO2（49, 358t-CO2）	3

1-3 低炭素な交通システムの実現

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
8	コミュニティバス「つくバス」の運行及びそれを補完するデマンド型交通「つくタク」の利用促進。	つくバス利用者数	981, 786 名（1, 029, 400 名）	3
		つくタク利用者数	48, 789 名（55, 200 名）	
9	「つくば市自転車安全利用促進計画」に基づく自転車の安全教育、走行環境整備。	隔年毎に実施される市民意識調査の設問「日常利用する交通手段」に自転車と回答した市民の割合	26. 2%（21%）	4
10	自転車等駐車場の整備、維持管理。放置自転車対策。	自転車駐車場維持管理	駅前放置自転車の撤去及び指導を実施。（-）	4
12	公用車の低炭素車使用の促進及びエコドライブの啓発。市民への低炭素車購入補助。	低炭素自動車への乗換えに対する補助の交付台数及び温室効果ガス削減量	70 台/年、▲66t-CO2 （45 台/年、▲52t-CO2）	5

1-4 気候変動と関連する災害による影響の低減

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
13	ハザードマップや防災の出前講座等を通じて、気候変動への適応や災害への備えを周知。	-	出前講座の開催 29 回 広報つくばに災害情報等の掲載 4 回、防災に関する動画を市公式 YouTube で配信（-）	4
14	熱中症警戒アラートの周知、熱中症の予防・対処法の啓発等の実施。	熱中症予防のための情報を市 HP 及び広報つくばで普及啓発	HP や広報つくばで注意喚起。 熱中症予防講話実施 106 回（-）	4
15	農業における気候変動の影響を軽減する技術や方策等の情報収集、発信。	市 HP での周知	0 件（1 回）	2

令和4年度 環境基本計画総括表

2 豊かな自然環境・生物多様性を未来へつなぐ

◎全体の総括

基本目標2の進捗状況は「目標を大幅に超えて達成」と「目標どおり達成」が約7割となりました。特に、市民協働型の事業やイベント事業が目標を達成する結果となりました。一方、「一部未達」や「未達」の事業も約2割見られました。特に、公園整備事業では施工者のスケジュール変更もあり、目標を達成できませんでした。

◎評価結果（全17取組）

◎計画の成果を測る評価指標

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	1
目標どおり達成	4	11
一部未達	3	3
未達	2	1
未実施	1	0
評価せず	-	1

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
つくば市の緑地面積 (山林原野面積+農地面積+都市公園の面積)	15,946ha (2021年)	現状維持
生物多様性つくば戦略	策定懇話会の開催要項を制定	策定(2025年度) 取組の推進

2-1 生き物・生態系の保全

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況(2022年度目標値)	評点
19	森林所有者との協定に基づく荒廃した山林の整備。	森林保全協定を締結した森林面積	1,4913ha(10ha)	3
21	市民協力による特定外来生物(アライグマ)捕獲・防除。	特定外来生物(アライグマ)の捕獲頭数	314頭(200頭)	4
22 (18) (20)	生物多様性つくば戦略の策定。策定懇話会の運営、生物基礎データの収集・整理方法を検討。	円滑な生物多様性つくば戦略策定懇話会の運営	生物多様性つくば戦略策定懇話会を3回開催(-)	4

2-2 里地里山景観の保全

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況(2022年度目標値)	評点
24	「つくば市屋外広告物条例」の適正運用。簡易除却対象広告物のパトロールと除却活動。景観形成基準(形態意匠、緑化等)との適合審査。	簡易除却対象広告物確認のパトロール実施回数	40回(32回以上)	4
25	グリーンバンク事業及び市民ファーマー制度に係る農地仲介・あっせんによる農地有効利用の促進。第2次つくば市鳥獣被害防止計画に基づく有害鳥獣の捕獲。	グリーンバンク事業賃借契約の成立面積	4.3ha(6.0ha)	3
		鳥獣による農作物被害金額 イノシシ及びカラスの捕獲頭数	5,502千円(8,723千円) イノシシ: 257頭(550頭) カラス: 440羽(350羽)	3

2-3 都市の緑を増やし、質を高める

番	事業概要・計画	評価指標	達成状況 (2022 年度目標値)	点
26	都市公園・都市緑地・その他の公園の計画的な植栽維持管理。	公園植栽の維持管理	357 か所の公園及び緑地の維持管理を実施 (354 公園)	4
27	新規立地企業に対して、工場立地法に基づき緑地の整備を指導。	新規立地企業の敷地内緑地率	20%以上達成 (敷地内緑地率 20%以上)	4
28	T X 沿線開発地区の区画整理事業の進捗に合わせた公園・緑地等の整備。	新規公園面積	土地区画整理事業施行者からの公園引渡し遅延 (0.7ha)	2
29	学校施設の芝生、緑地等の維持管理。新增築等計画時の植栽計画検討。	適切な植栽配置の検討及び維持管理	樹木剪定・害虫駆除及び防虫処理・芝管理業務の委託。(-)	4
30	市民が公園の「里親」となって、公園の世話 (清掃・除草・花壇の手入れなど) をする「アダプト・ア・パーク事業」の実施。	アダプト・ア・パーク参加団体数	41 団体 (39 団体)	4
31	市民協働による花壇等の維持管理。地域で活動する団体への花苗配布。	花苗配布団体数	151 団体 (145 団体)	5
32	地区計画で用途、緑化率等の制限を定め、きめ細やかな土地利用の誘導を図る。	地区計画決定に向けた打合せ	大穂地区地区計画及び吾妻第四地区地区計画を決定。 (-)	-

2-4 自然とふれあう

番	事業概要・計画	評価指標	達成状況 (2022 年度目標値)	点
33	宿泊型体験施設を活用した収穫体験などの体験型余暇活動の実施。	体験事業実施回数及び参加者数	筑波ふれあいの里 137 名 (100 名) 豊里ゆかりの森 48 回 1,160 名 (55 回、688 名)	4
34	森林ボランティアとの協働による森林保全管理、高崎自然の森の自然環境を活用した自然環境教育や森林体験、収穫体験イベントの実施。	体験イベント参加者数	544 名 (500 名)	4
35	市民及び環境スタイルサポーターズ会員向けに筑波山自然環境教育事業を実施。	自然環境教育事業実施回数及び参加者数	6 回 (6 回) 71 名 (100 名)	3
36	ジオガイドや研究者等による出前授業や学生を対象とした支援プログラムの実施。ジオツアーの開催。	教職員のための郷土学習指導者講座を実施、定番ジオツアーの開発	教職員のための郷土学習指導者講座 5 回、ジオツアー 14 回 (-)	4
37	栽培作業に関わりながら生産物が提供される農産物オーナー制度や農業体験イベント、農作業のボランティアを行う農業サポーター制度等の実施。	農産物オーナー制・農業体験イベントの参加者数	754 名 (600 名)	4

令和4年度 環境基本計画総括表

3 資源を賢く使う循環型社会に近づく

◎全体の総括

基本目標3の進捗状況は「目標どおり達成」が5事業となりました。特に、家庭用廃食用油回収量やごみ分別についての事業は目標を超える結果となりました。一方、「一部未達」が2事業となりました。特に、飲食店や排出事業者への普及啓発活動の事業において、目標を達成することができませんでした。

◎評価結果（全7取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	0
目標どおり達成	4	5
一部未達	3	2
未達	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2029年度)
市民一人当たりの生活系ごみ排出量	634g/人・日 (2022年度)	648g/人・日
市民一人当たりの事業系ごみ排出量	424g/人・日 (2022年度)	393g/人・日
リサイクル率	26.9% (2022年度)	25.0%

3-1 3Rの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
38 (39)	資源物集団回収及び生ごみ処理器等購入の推進。子ども向けの3Rの促進・啓発。	資源物回収団体数	113 団体 (117 団体)	4
		牛乳パック回収量	1,171kg (2,500kg)	
		3Rニュース発行回数	4 回 (2 回)	
40	事業者等と連携した3Rの促進。環境イベントにおけるリユース食器導入の検討。	当課主催イベントにおけるプラスチックごみの削減に配慮した移動販売事業者数	プラスチック製の容器を使用しない移動販売事業者4事業者 (3事業者)	4
41	事業系ごみの業種別排出状況の把握。多量排出事業者への一般廃棄物減量化等計画書提出の要請。飲食店等の食品ロス削減の推進。	一般廃棄物減量化等計画書提出件数	98 件 (100 件)	3
		いばらき食べきり協力店への新規登録数	1 件 (20 件)	
42	回収した家庭用廃食用油によるBDFの精製、公用車（サステナスクエア内の作業車両等）での活用。	家庭用廃食用油回収量	13,767 L (10,000 L)	4

3-2 廃棄物の適正処理

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
43	廃棄物処理の適正管理。サステナスクエアの維持管理。	-	最終処分追跡調査により焼却灰適正処分を確認。（-）	4
44	資源化施設の整備。粗大ごみの戸別収集実施。家庭ごみの出し方カレンダー配布及びごみ分別アプリの周知。	粗大ごみ収集予約件数	14,122件（12,000件）	4
		ごみ分別アプリのダウンロード数（年間）	10,363件（8,000件）	
45	県による市内産業廃棄物処理施設の立入調査。不適正管理案件の調査・指導協力。排出事業者に対する産業廃棄物と一般廃棄物の分別を促すポスター等配布及び訪問による啓発。	産業廃棄物処理施設への立入調査件数	0件（2件）	3
		産業廃棄物不適正保管等の調査件数	0件（2件）	
		排出事業者への訪問啓発件数	13件（30件）	

令和4年度 環境基本計画総括表

4 安心して快適な生活環境で暮らす

◎全体の総括

基本目標4の進捗状況は「目標を大幅に超えて達成」と「目標どおり達成」が約7割となりました。特に、ボランティア人数が大幅に増加するなど、美化活動に関する事業が目標を達成しました。一方、「一部未達」の事業も約3割見られました。騒音や悪臭への苦情件数が多く見られた結果であり、指導や啓発が必要な状態となっています。

◎評価結果（全11取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	1
目標どおり達成	4	7
一部未達	3	3
未達	2	0
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
2018年度市民の環境不満足度 (5年に1度の調査)	空気のきれいさ：5.8% 水のきれいさ：18.4% 静けさ：13.2% ごみ収集や処理方法：9.5%	現状より改善

4-1 清潔で静かな生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
47	環境美化活動（ごみ拾い等）を行う個人・団体へ清掃用具等の支援及び「きれいきれい大作戦」への市民参加推進。	自発的な環境美化活動（ボランティア）者数	12,860人（延べ10,500人）	5
49	市内一斉清掃の実施。不法投棄パトロールの実施と不法投棄ごみの回収。不法投棄禁止看板の無料交付、及びごみ集積所の設置補助。	市内一斉清掃の実施回数	2回（2回）	4
		不法投棄パトロール実施日数	347日（350日）	
		集積所設置事業補助金の交付件数	22件（30件）	
50	野焼き行為禁止に関する区会回覧及び広報紙による注意喚起及び防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロール及び指導。	区会回覧及び広報紙による周知回数	3回（4回）	4
		防犯環境美化サポーターによる市内巡回パトロール日数	347日（350日）	

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
51	農業用廃プラスチックの回収及び適正処理の啓発。新たなストックヤード候補地について調査、交渉。葉刈り芝の回収、たい肥化促進のための発酵促進剤及び消石灰の配布。	農業用廃プラスチックの回収量	30,160kg（50,000kg）	4
		葉刈り芝の回収量	83,670kg（42,000kg）	
52	公害法令に基づく道路騒音調査等の常時監視、届出受理、立入検査・指導、一般環境調査及び公害紛争処理法に基づく苦情処理。「公害防止協定」、「公害防止確認書」の運用、調整。	騒音・振動苦情件数	105件（50件）	3

4-2 安全な生活環境の確保

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
53	公害法令に基づく地下水調査、常時監視、届出受理、検査・指導、一般環境調査及び公害紛争処理法に基づく苦情処理。「公害防止協定」、「公害防止確認書」の運用、調整。	水質・悪臭・大気苦情件数	77件（40件）	3
54	高度処理型合併処理浄化槽の設置及び単独浄化槽からの転換経費補助。	浄化槽補助申請数	87件（100件）	3
55	配水管の破損等の緊急時における修繕工事の実施。	-	配水管等修繕工事 148件、消火栓修繕工事 12件（-）	4
56	公共下水道の整備、中継ポンプ場、マンホールポンプなどの下水道施設の適正な維持管理及び改築工事。	下水道普及率	86.10%（86.10%）	4
57	農地からの表土流出を防止するカバークロープ事業の実施。土壌への炭素貯留や生物多様性保全に効果的な営農活動の推進。化学肥料等を低減した環境保全型農業の推進、農薬の適正使用の周知。	カバークロープ補助対象面積	32.2ha（50ha）	4
		環境保全型農業直接支払交付金対象面積	19.3ha（15ha）	
		有機資材購入費補助対象面積	151.5ha（150ha）	
		農薬の適正使用に関する市HP掲載及び広報つくば掲載回数	市HP掲載1回（1回） 広報紙掲載2回（1回）	
58	PRTTR法に基づく対象化学物質の排出量・移動量情報の公表データの閲覧しやすい環境の形成	-	市HP掲載。（-）	4

令和4年度 環境基本計画総括表

5 市民一人ひとりが環境を考え、行動する

◎全体の総括

基本目標5の進捗状況は「目標を大幅に超えて達成」と「目標どおり達成」が半数となりました。特に、自然環境教育事業等の参加型イベントが目標を超える結果となりました。一方、「一部未達」や「未達」の事業も半数であり、新型コロナウイルスの影響を受けて積極的な事業を行えず「一部未達」及び「未達」の評価となった事業もありました。

◎評価結果（全10取組）

進捗状況	評点	取組数
目標を大幅に超えて達成	5	1
目標どおり達成	4	4
一部未達	3	2
未達	2	3
未実施	1	0
評価せず	-	0

◎計画の成果を測る評価指標

評価指標	現状実績値	目標 (2030年度)
環境配慮行動を行った市民の割合	58%※1 (2018年度)	90%※2
つくば市主催・共催の環境啓発事業参加者数	84人 (2022年度)	1,000人

※1：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「環境配慮物品購入状況」

※2：アンケート調査(5年に1度程度実施)の「様々な環境配慮行動」

5-1 持続可能なライフスタイルの推進

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
59	リサイクル講座などの大人向け普及啓発活動や環境教育講座の実施。	大人向けの環境講座イベントの実施回数	3回（10回）	2
60 (68)	【重点施策】環境分野で活躍する市民団体への支援強化や、情報を広く展開できる人材の発掘。環境配慮製品購入時の補助や会員制プログラムの内容の充実。	環境教育事業の実施回数	5回（5回）	4
61	ホームページや広報紙等による最新の省エネ・環境情報や環境にやさしい生活の方法・工夫についての情報提供。	サポーターズニュース発行数（アンケート含む）	3回（6回）	2

5-2 将来を担う子どもたちへの環境教育

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
62	つくばスタイル科における自然共生のための人間生活や、環境にやさしい社会づくりについて考えを深める活動の推進。	新たにSDGsの視点を取り入れた環境学習プログラムを実施し、修正再整備します。	SDGsシールコンテストの実施、科学に関わる体験活動の実施やGIGA端末を活用した交流(-)	3

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
63	学校における持続可能な社会づくりの担い手の育成。行政と学校の連携による環境・経済・社会の統合的な視点で課題解決できる人材教育プログラム等の検討。	エコクッキング事業 実施回数	10回（5回）	5
64	地場産農産物の学校給食への導入と生産者と児童の交流機会設定による子どもたちの地元農産物に関する理解の促進。	つくば市学校給食会 栄養士部会が実施している食生活に関する調査における「給食で地場産物を使っている認知度」	6月と12月に調査を実施。 5年生：78.2% 8年生：75.7% (80%以上)	2
65	環境学習イベントや自然体験プログラム等を通じた学校外での子どもたちの環境教育の推進。環境や持続可能性に関する教材等の作成。	地球温暖化対策に関する動画の作成	地球温暖化対策に関する動画（省エネドリル）の完成、1,016回の視聴（地球温暖化対策に関する動画の完成）	4
66	次世代を担う子供たちとその親世代を対象に、筑波山の自然や恵みを実感してもらう体験の実施。	実施回数	7回（7回）	4
		参加者数	171名（150名）	

5-3 環境と経済の好循環

番号	事業概要・計画	評価指標	達成状況（2022年度目標値）	評点
69	農産物の地産地消を推進するため、6次産業化支援、地産地消レストラン認定事業の実施。	地産地消店の認定数（累計）	157店舗（155店舗）	4
70	学校給食における地場産物を活用した献立作成。地元農産物生産者による食育授業の実施。	学校給食における地産地消率（市で生産・収穫された食品数の割合）	18.4%（20%）	3